

## 第32回早稲田映画まつり作品応募要項

令和元年 6月 1日

### ●応募方法

作品、応募用紙、出品料（現金 2000 円）をセットにして、受付場所まで直接お持ちください。但し、同監督であれば 1 本分の出品料で何本でも応募することができます。

応募用紙は Facebook (<https://www.facebook.com/waseda.film.fes/>) 又は公式 HP にて入手可能です。

応募の際に、監督の学生証を提示してください。代理人が応募する場合は、監督の学生証のコピーを提示してください。

### <受付期間>

10月3日（木）～10月5日（土）21:00

### <受付開始時刻・終了時刻一覧>

#### 10月3日（木）

受付開始時刻：18:30

受付終了時刻：21:00

#### 10月4日（金）

受付開始時刻：18:30

受付終了時刻：21:00

#### 10月5日（土）

受付開始時刻：18:30

受付終了時刻：21:00

### <受付場所>

早稲田大学戸山キャンパス36号館2階ラウンジ（東京都新宿区戸山1-24-1）

ラウンジのテーブルにスタッフが座っています。

●応募に際してのご注意

- ・作品はUSBによるデータ提出でのみ受け付けます。

※今年度はディスクによる提出を受け付けません。ご注意ください。

- ・データの拡張子は必ず.mp4に設定してください。

※それ以外の形式で提出し、上映できないなどのトラブルが起きた際、如何なる救済措置もとることはできません。

- ・作品内で監督が著作権を有しない著作物を使用する場合、著作権者の承諾を得た上で応募してください。著作物の無断使用に関する係争が生じた場合、その全費用は監督が負担するものとします。
- ・応募作品を制作した監督がその作品の著作権を全面的に有さない場合、審査の対象外となります。

又、出品された時点で以下の項目について承諾したものとします。

- ・二次審査を通過した作品はゲスト審査員へ送付されます。
- ・二次審査を通過した作品は、映画まつりに個人でご協賛くださった方へのお礼として、そのデータを贈呈する可能性があります。
- ・本選にノミネートされた作品・受賞した作品は、早稲田映画まつりの広報活動に限って、その映像・音声を使用することがあります。

●応募受付後

＜スクリーンチェック＞

監督または監督の代理の方が一次審査・二次審査用のスクリーンチェックに立ち会うことができます。スクリーンチェックの制限時間は1作品あたり10分間です。スクリーンチェックは以下の日程・場所で行いますので、希望する時間帯を応募する際にお申し出ください。

日程：10月8日（火）9時～18時（予定）

10月9日（水）9時～18時（予定）

（一部、休憩時間等でスクリーンチェックを行えない時間帯があります。詳細は応募の際に確認してください。）

場所：早稲田大学戸山キャンパス学生会館W503、W504、W505予定

（戸山キャンパスの場所は「受付場所」参照）

- ・一次審査前のスクリーンチェックでは、一次審査の上映途中での音量調整について希望を受け付けることができます。それ以降での審査では認められません。

●一次審査・二次審査について

第32回早稲田映画まつり本選で上映する作品を決定するために、一次審査と二次審査を実施します。これらの審査は早稲田大学八大映画サークルの会員によって行われます。また、監督が審査に関与することは出来ません。

一次審査において、作品応募期間（10月3日～10月5日）に提出されたUSB以外で上映することはいかなる理由があつた場合でも認められません。

<一次審査・二次審査の予定期間>

・一次審査

10月10日（木）～10月15日（火）※作品数により変更の可能性あり

・二次審査

10月26日（土）～10月27日（日）※作品数により変更の可能性あり

●再編集について

・一次審査を通過した作品は、その後二次審査までの1～2日程度の再編集期間を設けています。

※二次審査後の再編集期間はありません。

●作品返却

USBと審査の講評をセットにして第32回早稲田映画まつり当日に返却しますので、当日の受付に学生証など、本人確認のできる書類をお持ちください。

当日に受け取れない場合、別途審査部にご相談ください。第32回早稲田映画まつり終了後1ヶ月を過ぎても受け取りについての連絡がなかった場合、USB及び審査の講評の所有権を放棄したものとみなし処分の如何を問うことはできません。

●応募資格

次の3つの基準をもれなく満たす作品を審査の対象とします。

条件①完成日について

平成30年10月7日以降に完成した作品。

平成30年10月7日より前に完成した作品をそれ以降に再編集したものは不可。

条件②監督について

応募作品の監督が、次のⅠ、Ⅱのいずれかの条件に当てはまる作品を対象とする。

※「早稲田大学の学生」…学部、通信教育課程、大学院、専門学校を含む。附属校、系属校、附属機関を除くものとする（詳細は「●参考事項」の項目にて）。

また、監督が早稲田大学を休学中の場合は、必ず学生証もしくは休学証明書を作品提出の際に提示すること。

さらに今年度は、監督が令和元年9月に卒業した場合も、在学中に完成した作品であるなら応募可能。

※「早稲田大学八大映画サークル」…映画研究会、映画制作グループ☆ヒグラシ、映像製作集団浪人街、シネサイクル叛頭脳、CINEMAX SIDEVARG、CINEMANIX、シネマプロダクション、稲門シナリオ研究会の八団体。

I. 監督が 1 名の場合、以下の a, b のいずれか、または両方の基準を満たす作品を対象とする。

- a. 監督が早稲田大学の学生。
- b. 作品の制作母体が早稲田大学八大映画サークルであり、かつ、監督が早稲田大学八大映画サークルの会員であり、学生である。

II. 監督が複数名の場合、以下の c~e のいずれかを満たす作品を対象とする。

- c. 監督全員が早稲田大学の学生。
- d. 作品の制作母体が早稲田大学八大映画サークルであり、かつ、監督全員が早稲田大学八大映画サークルの会員であり、学生である。
- e. 監督が、早稲田大学の学生と早稲田大学八大映画サークルの会員で構成されており、かつ作品の制作母体が早稲田大学八大映画サークルである。

条件③著作権について

制作した応募作品の著作権を、全面的にその作品の監督が有する場合のみ対象とする。

●参考事項

・早稲田大学学生の定義

学部、通信教育課程、大学院、専門学校の学生を含み、附属校、系属校、附属機関の学生を除きます。

「通信教育課程」は人間科学部eスクールを含みます。

「専門学校」は芸術学校、川口芸術学校を含みます。

「附属校」「系属校」は学内の中学校・高等学校を含みます。

「附属機関」はオープン教育センターなどを含みます。

・受付終了時刻間際の処理について

21時00分を過ぎた時点で、受付会場内でその旨をお知らせします。1分以内に作品ディスクを受付に提出していただいた方を最後に、受付を終了致します。応募用紙へのご記入、その他手続きはその後で結構です。

●賞について

以下の賞が授与されます。

グランプリ

準グランプリ

観客賞

新人賞（一年生の作品の中から二次審査により決定）

審査員特別賞（該当作品があった場合のみ）

役者賞（該当者がいた場合のみ）

※今年度は短編賞を設けません。

●作品応募に関するお問い合わせ先

第32回早稲田映画まつり審査部 副部長 西島瑞紀

メールアドレス : m.nishijima@akane.waseda.jp

早稲田映画まつり Facebook : <https://www.facebook.com/waseda.film.fes/>

または、「早稲田映画まつり」で検索